

意見書

さくらこども園 園長宛

園児名 _____ 男・女

生年月日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

○印	感染症名	感染しやすい期間	登園のめやす
	インフルエンザ	症状がある期間(発症前 24 時間から発病後 3 日程度までが最も感染力が強い)	発症後 5 日を経過し、かつ解熱後 2 日(乳幼児は 3 日)を経過していること
	新型コロナウイルス感染症	発症後 5 日間	発症した後 5 日を経過し、かつ症状が軽快した後 1 日を経過していること ※無症状の感染者の場合は、検体採取日を 0 日目として、5 日を経過していること
	麻疹 (はしか)	発症 1 日前から発疹出現後の 4 日後まで	解熱後 3 日を経過していること
	風しん	発疹出現 7 日前から 7 日後くらい	発疹が消失していること
	水痘 (水ぼうそう)	発疹出現 1～2 日前から痂皮 (かさぶた) 形成まで	すべての発疹が痂皮 (かさぶた) 化していること
	流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	発症 3 日前から耳下腺腫脹後 4 日	耳下腺、顎下腺、舌下腺の腫脹が発現してから 5 日を経過し、かつ全身状態が良好になっていること
	結核		医師により感染の恐れがないと認められていること
	百日咳	抗菌薬を服用しない場合、咳出現後 3 週間を経過するまで	特有の咳が消失していること、または 5 日間の適正な抗菌性物質製剤による治療が終了していること
	アデノウイルス感染症		医師により感染の恐れがないと認められるまで
	咽頭結膜炎 (プール熱) ※アデノウイルス	発熱、充血等症状が出現した数日間	主な症状の消失後 2 日経過していること
	流行性角結膜炎 ※アデノウイルス	充血、目やに等症状が出現した数日間	結膜炎の症状が消失していること
	ウイルス性胃腸炎 ※アデノウイルス	症状のある間と、症状消失後 1 週間(量は減少していくが数週間ウイルスを排出しているので注意が必要)	嘔吐、下痢等の症状が治まり、普段の食事がとれること
	腸管出血性大腸菌感染症 O157・O26・O111 等		医師により感染の恐れがないと認められていること(無症状病原体保有者の場合、トイレでの排泄習慣が確立している 5 歳以上の小児については出席停止の必要はなく、また 5 歳未満の子どもについては、2 回連続で便から菌が検出されなければ登園可能である)
	急性出血性結膜炎		医師により感染の恐れがないと認められていること

侵襲性髄膜炎菌感染症 (髄膜炎菌性髄膜炎)		医師により感染の恐れがないと認められるまで
ウイルス性胃腸炎 ノロ・ロタ 等	症状のある間と、症状消失後1週間(量は減少していくが数週間ウイルスを排出しているので注意が必要)	嘔吐、下痢等の症状が治まり、普段の食事とれること
R S ウイルス感染症	呼吸器症状のある間	呼吸器症状が消失し、全身状態が良いこと

上記疾患について症状が回復し、集団生活に支障がない状態となったので、登園可能と判断します。

年 月 日

医療機関名

医 師 名 署名又は印